

おてら

先祖への供養は

私への供養

会要法彼岸秋

九月二十日～二十六日

二十三日 (日・祝)

彼岸中日法要

午前十一時より

法話後 おととき

おとときも椅子席になっております

二十四日 (月・休)

永代経法要

午後七時より

お彼岸中にお墓参りをしましょう

ご本尊様にもお参りいたしましょう

常例十六日講
毎月十六日午後一時より
お経練習・法話会
写経会
毎月第二・四火曜日
午後一時より

無常

住職 蒲原 霊英

今この原稿を書いているのは8月上旬。西日本では7月豪雨で広範囲にわたる甚大な被害が出ましたが、その後は連日の猛暑。新潟は雨が一滴も降らず。昔ならば、早が続き大飢饉が起ったことでしょうか。

実は、親鸞聖人が生きられた鎌倉時代も非常に異常気象や地震や噴火などの災害が多い時代でした。聖人が住まれた京都の鴨川にも、たくさんの死体が転がっていたようです。同じ鎌倉時代に生きた鴨長明が書いた有名な『方丈記』にも、長明自身が体験した安元の大火、治承の辻風、養和の大飢饉、元暦の大地震などが真に迫る描写で詳しく解説されており、『方丈記』は初めての災害文学とも言われています。そして、有名な冒頭の「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。」は、仏教の無常観を表した名文と言われています。

「無常」とは「常ならず」で、「世の全てのものは常に移り変わり、いつまでも同じものは無い」ということです。確かに、瞬く間に家屋が泥水に呑まれたり倒壊したりして、人間が流されたり生き埋めになったり下敷きになったりして命を落としてゆく様子を目の当たりにすれば、誰でも、「この世は常ならず」と思うことでしょう。どうすることもできない真理なのです。

しかし、この言葉を、この世のはかなさだけを強調してネガティブ（マイナス）にだけ捉え、どうせどうせと投げやりに唯々淡々と命を消化していくだけでは、折角の一度きりの人生、非常にもつたいないではありませんか。元々、お釈迦様はそういう虚無感だけの「無常」は説かれていません。次の瞬間どうなるかも分からないはかない命だからこそ、この一瞬一瞬を大切に、只今ここに在る命を精一杯に生きよと説かれています。瀬戸内寂聴さんは、同じこの言葉を、「この世では同じ状態は決して続かない。（中略）現在のこの世の地獄も、必ずどん底からの反動として、今に立ち上がり、希望の見える世の中に変わると信じて疑わないのである。私たちはどんな不幸の中でも決して絶望してはならない。暗闇の空に希望の星を見出す力を人間は与えられてこれまで生きてきた。」と、さらにポジティブ（プラス）に捉えられています。

もう一つ付け加えると、『方丈記』では、「地震があつたことさえ言葉に出して言う人がいなくなつてしまった」と、人間の愚かさにも言及しています。彼岸を機に、改めて「無常」という言葉を味わってみましょう。 合掌

新盆法要

「平成30年7月豪雨」 各地に被害



西日本を中心に広い範囲にわたって土砂災害や河川の氾濫、浸水など甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」。宗門内の寺院や門信徒も大きな被害を受けています。宗派は、各教区と連動しながら支援活動を始め、災害義援金の募集も行っています。

宗派・社会部（災害対策担当）は、7月2日午後から中国・四国・九州地区の各教区へ災害対応の備えを要請、7日は大雨特別警報が発令された当該教区を通じて被害状況の確認を始めた11教区から被害報告が寄せられ、僧侶1人、門信徒28人の死亡が確認された他、寺院42寺で床上床下の浸水や境内・墓地への土砂流入、また77ヶ寺の門信徒宅も同様の被害を受けたことが分かり、引き続き情報収集を進めています。

宗派では9日午前から甚大な被害のあった教区へ救援物資の搬送を始め、飲料水や非常食、タオル、発電機などの物資を大型トラックに分けて送り、翌10日には社会部部长が各教区の災害対策委員会を見舞い、見舞金などを渡しました。


8月4日夜7時から、護持会主催の新盆法要が営まれ、県内外から40名余のご門徒方が参拝されました。読経中にご法名が読み上げられると参拝者が順次焼香。住職によるお盆の由来に関する法話の後には、記念品とお供物の下付がありました。記法要終了後には、婦人部の方々が作られた白玉が参拝者の方々に振る舞われました。

亡くなられて初めてのお盆を迎え、参拝者の方々はそれぞれに故人在りし日を偲び、いつも見護って下さる仏さまとなりた方々に改めて感謝申す法要となりました。

みつけイングリッシュガーデンと小林樓

9:00 浄光寺発
10:00~ 第一ニットマーケティング
12:00~ (昼食) 入浴なし
14:00-15:00 道の駅 パティオ
16:00 浄光寺着
ザ・ガーデンプレイス小林樓

10月4日(木) 会費 ¥ 6,500

お申込 025-229-0629  ご参加お待ちしております 